仕様概略

モデル			CRB200	CRB500		
仮想化ソフトウェア			Microsoft Windows Server Hyper-V	Microsoft Windows Server Hyper-V	VMware vSphere	VMware vSphere
実装規模 ※1			～110VM	～300VM	～300VM	～1900VM
主要構成ハードウェア	サーバ	機器	PRIMERGY RX2530			
		搭載台数 ※2	2～4台	2～10台	2～10台	2～60台
	ストレージ	機器	ETERNUS DX series	ETERNUS DX series	ETERNUS NR1000F	ETERNUS DX series
		接続方式	FCoE	FCoE	NAS（NFS）	FCoE
		容量 ※3	～約122.4TB	～約230.4TB	～約259.2TB	～約1891.2TB
	スイッチ	機器	SR-X CFX2000			
		外部接続帯域	1/10/40G			
		内部接続帯域	10G			
運用管理ソフトウェア		仮想化基盤	ServerView Resource Orchestrator Express または、TRIOLEクラウドミドルセット Aセット			
		クラウド基盤	ServerView Resource Orchestrator Cloud Edition または、TRIOLE クラウドミドルセット Bセット			

※1 記載のVM数の上限値は、1VMあたり、CPU:1コア、メモリ:4GB、HDD:100GBを割り当てて算出した目安です。
VM数の上限を指定するものではなく、実際にはご使用されるシステム設計にあわせて規模をお見積もりください。
※2 うち2台は、管理兼業務サーバです。
※3 2.5インチSAS Diskを搭載した場合の物理容量です。

システムの安定稼働をワンストップで支援する製品サポート

PRIMEFLEX for Cloudを構成するハードウェア・ソフトウェアに関するお客様のさまざまな問題を、サポートセンターの専門技術者がワンストップで24時間365日サポート。お客様の運用負荷を軽減する運用・保守サービス「FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDesk」※を提供します。

※ 別途契約が必要です。

［SupportDeskのご紹介］ http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/

- 商品に実装される機能は選択するモデルや運用管理ソフトウェアによって異なります。
- このカタログに記載している内容は2016年7月現在のものです。
  改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。
- 記載している会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

Green Policy Innovation

インターネットで製品情報がご覧になれます。
http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/integrated-systems/primeflex-cloud/

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン（総合窓口）
0120-933-200
受付時間 9：00～17：30（土・日・祝日・年末年始を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Copyright 2016 FUJITSU LIMITED

DE0007-4 2016年7月AP

FUJITSU

FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Cloud

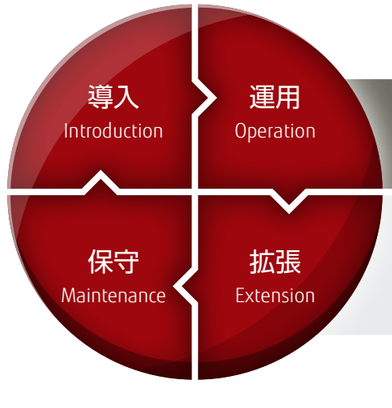
垂直統合型 仮想化・クラウド基盤

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

ビジネスイノベーションを加速する
垂直統合型 仮想化・クラウド基盤

グローバル化の進展、異業種企業との競争の激化、顧客ニーズの多様化など、
経営環境が急速に変化しつづける今、その変化にスピーディーに対応し、
ビジネスイノベーションの原動力となるICTシステムが求められています。
FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Cloudは、既存のICTシステムを最適化し、
新しい価値の創造や変革につながる新たなICTシステムを
迅速かつ柔軟に実現できる次世代プラットフォームです。



導入から運用、拡張、保守にいたるまで、ICTライフサイクル全般を効率化

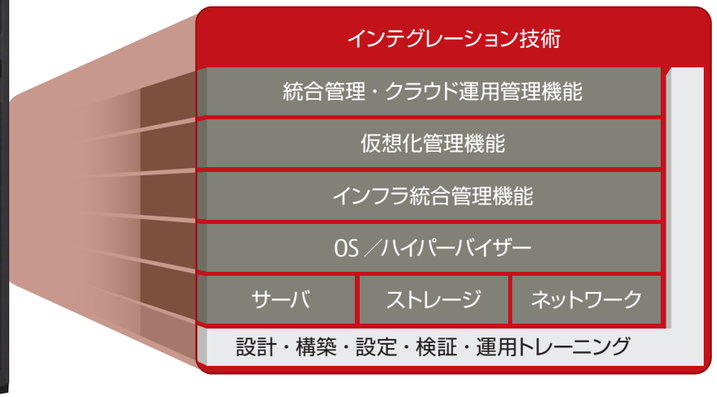
FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Cloud

PRIMEFLEX for Cloudは、仮想化基盤・プライベートクラウド基盤の設計、構築、運用に必要な要素をパッケージ化した垂直統合型プラットフォームです。高品質なインフラ基盤の短期導入を実現するとともに、ICTライフサイクル全般にわたる運用の品質向上と負荷軽減を促し、お客様のビジネスの変革・成長に貢献します。

高品質な仮想化・クラウド基盤を手間なく導入

ハードウェアとソフトウェアをシステム全体として最適化し、設計・構築・検証・基本設定済みの状態で納入します。お客様は、サーバやストレージのタイプ、仮想化ソフトウェアや運用規模に応じて希望のモデルを選択するだけで、高品質な仮想化・クラウド基盤をスピーディーに導入できます。
将来的な拡張性を考慮した設計になっているため、小規模でスタートし、段階的にアップグレードや機器の追加を検討したいというお客様にも最適です。
さらに、納入後はお客様先にて運用トレーニング※を実施しますので、スムーズに運用を開始できます。

※ 仮想化／クラウド運用管理ソフトを導入される場合に実施します。



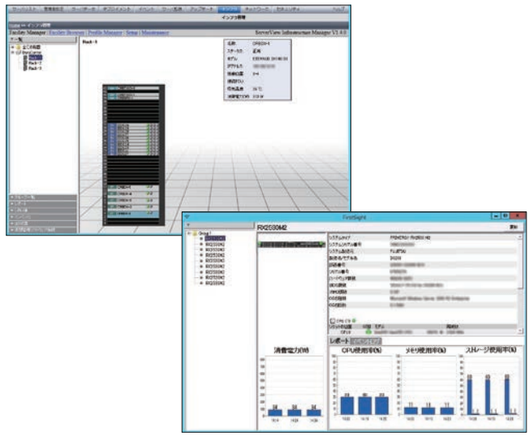
簡単で安定したシステム運用を支援

ハードウェアの監視からクラウドの運用まで、システム運用を支える多彩な機能を搭載しています。これにより、管理者の負荷を軽減してTCOを削減すると同時に、利用者にも高い利便性を提供します。

■ハードウェアを統合監視

機器の管理をわかりやすいGUIで一元化しています。サーバ、ネットワーク、ストレージといった搭載機器の電源の状態、エラーの有無、CSS（Customer Self Service）などのLED表示を、実際の機器と同じように表示するため、まるでラックの前にいるかのように稼働状況を視覚的に把握できます。
さらに、機器をクリックするとシリアル番号や適用されているファームウェアの版数などの機器情報や、リソースの使用状況・消費電力など、詳細な情報も確認することができます。

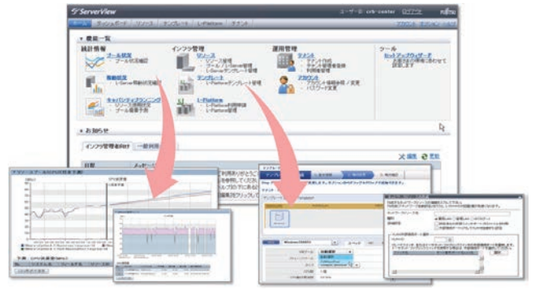
機器監視・管理画面



■充実のクラウド運用機能

管理者は、よく使われる仮想システムをあらかじめテンプレートとして用意し、メニュー化することができます。利用者は、わかりやすいGUIでニーズに合ったテンプレートをメニューから選択し、簡単に利用申請をすることができます。
事前に設定された承認プロセスで承認すると、ファイアーウォールやサーバロードバランサーなどへの自動設定が行われ、仮想システムが自動配備されます。自動化により管理者の作業負荷が軽減するとともに、利用者にとっても高品質な仮想システムを迅速に利用できるようになります。

仮想システム運用画面



■SDN※技術で仮想スイッチを実現

複数の物理スイッチを仮想的に1台のスイッチとして、GUI上で管理・制御することにより、導入時の設定や運用の負荷を軽減します。また、物理スイッチと仮想スイッチの接続を可視化することで、直感的に状態を把握することができます。

※SDN:Software Defined Networking　ソフトウェアにより、構成や機能を定義・制御することが可能なネットワークを構築する技術全般のこと。

システム増設時の負担を軽減

導入後の機器増設をあらかじめ考慮して設計しており、基本設計済みの増設用サーバを用意しているため、増設に伴う調査や設計、確認といった作業を大幅に省略できます。
実際の増設作業においても、増設したサーバへのBIOSの設定やOSインストール作業の自動化機能により、作業負荷を軽減し、作業品質を向上させることができます。
また、仮想化運用からクラウド運用への機能レベルの拡張が可能です。例えば、仮想化基盤として導入したシステムで、運用している内に仮想サーバが増加して管理負荷が高くなってしまった場合、クラウド基盤にアップグレードすることで運用を効率化することができます。

安定稼働をサポート

構成機器に現在適用されているファームウェアの版数と、その更新の有無を一覧で表示することで、更新が必要な機器を簡単に把握できます。また、それらを一括でアップデートすることも、選択して順次アップデートすることも可能です。
さらに、PRIMEFLEX for Cloudは富士通社内で構築・設定した商品のため、サポートスタッフは機器構成やプレインストールされたソフトウェア、設定内容を把握しており、トラブルの際にも対応から解決にいたるまで、より迅速に進めることが可能です。